

有機農業の取組事例（常陸大宮市：(株)レインボーフューチャー）

いばらきオーガニックステップアップ事業を活用した有機農業の参入

令和元年度から県北地域での大規模でモデル的な有機農業の取組を支援するため、「いばらきオーガニックステップアップ事業」を実施しています。 ➔ 有機農産物生産による付加価値向上の取組を支援



有機野菜の収穫体験

- ◆ 令和元年度 ～導入費用補助等により営農を支援し、有機農産物の生産拡大を図る～
 - ・常陸大宮市で、(株)レインボーフューチャー（本社：筑西市）が参入
 - ・参入農地：常陸大宮市 三美地区（畑地帯総合整備事業地内）
 - ・導入機械：トラクター、にんじん収穫機等（リース導入）
 - ・対象作物（有機野菜）：にんじん、ベビーリーフ、ホウレンソウ
→有機JAS転換期間中の認証取得（R2.12）

□ 畑地帯総合整備事業（常陸大宮市 三美地区）

- 工期：平成20年度～令和2年度
- 受益面積：約32ha
- 国営那珂川沿岸農業水利事業の受益地であり、畑地かんがい用水を活用し、露地野菜を中心とした収益性の高い農産物の導入を図る
- 大区画圃場を整備するとともに、担い手に農地集積・集約化を進め、規模拡大と作業の効率化を図る

○ 「耕畜連携」の取組 ～地域循環型農業の実践～

県北地域で生産が盛んな常陸牛の畜産経営体が生産する良質な堆肥を、有機栽培の園芸経営体が利用し、付加価値の高い農産物を生産・販売する地域循環型農業

- 大和田氏：化学農薬や化学肥料を使用せず、地元での牛ふん堆肥で土づくりを実施
- (有)瑞穂農場：排出される糞尿を堆肥化し、耕種農家へ販売することで、資源の有効活用を図る

「県北地域有機農業拠点圃場技術検討会」における講師

県北農林事務所で、有機農業の取組を促進するため、常陸大宮市において有機農業を開始した(株)レインボーフューチャー：大和田氏を講師（「経営と栽培の概要～新天地での野菜づくり～」の講演）として技術検討会を開催（令和2年：常陸大宮市）

□ 講演内容 ～大和田氏からの説明（概要）～

- 42歳でサラリーマン退職し、就農（就農後、5年目頃から地域でも認められ始めた）
- 筑西市内の圃場面積は、約30ha（約100か所近くあり、小区画等課題が多い）
→常陸大宮市内の圃場は、約5haが1箇所にとまわっていて、魅力的だった
- 現在、栽培品目約50品目以上（スタッフ：約50名 ～研修生・パート含む～）
- 出荷先：大手スーパー、飲食店、生協、有機野菜の販売会社等 約60社 *大宮イオン
- 土づくり：土壌診断に基づく土壌改良、輪作体系、完熟堆肥の活用（牛ふん堆肥等）
- 病害虫・雑草対策：防虫ネット、太陽熱消毒、有機JAS適合の農薬
- * 就農した約20年前は、有機野菜に対する理解者や、有機農産物の生産者も少なかった。また、農地を借りるのが大変で、条件を選ばず借りられる農地を借りて面積を拡大した。他の農産物との区別をつけるため、「有機野菜（有機農産物）」として付加価値を高めた。



□ 関係機関が連携した参入支援等

- ・農業委員会等
参入農地の調整、住宅等の紹介等
- ・普及センター等
土壌診断、栽培技術の支援等

○ (株)レインボーフューチャーからのコメント

- ・有機農産物の需要の増加等
取引先において引き合いが増加傾向（生産拡大）
- ・地域密着の農業を目指す
手間もかかる仕事であり、地元の協力も必要